

## アーソロバクター属のキサンチンオキシダーゼ

Cat. No. NATE-1719

Lot. No. (See product label)

### はじめに

#### ○明

キサンチンオキシダーゼは、反応性酸素種を生成する酵素の一種であるキサンチンオキシドレダクターの一種です。これらの酵素は、ヒポキサンチンをキサンチンに酸化する反応を触媒し、さらにキサンチンを尿酸に酸化する反応も触媒することができます。これらの酵素は、ヒトを含むいくつかの種におけるプリンの異化において重要な役割を果たしています。

#### 別名

EC 1.17.3.2; キサンチンオキシダーゼ; XO; XAO

### 製品情報

#### 由来

アトロバクター属

#### 形態

赤褐色の非晶質粉末、凍結乾燥された

#### EC番号

EC 1.17.3.2

#### CAS登録番号

9002-17-9

#### 分子量

160 kDa (gel)

#### 活性

>50U/mg タンパク質

#### 等電点

4

#### pH安定性

6.0~9.5(30°C, 16時間)

#### 最適pH

7.0~7.5

#### 熱安定性

< 55°C (pH 7.5, 20分)

#### 最適温度

55°C

#### ミカエリス定数

1.4×10^-4 M (キサンチン)

#### 阻害剤

Ag+, Hg2+

#### 単位定義

1ユニットは、pH 7.5、37°Cで1分あたり1マイクロモルのキサンチンを尿酸に変換します。

#### 備考

研究用のみを目的としており、人間、治療または診断用途には使用しないでください。

### 保管・発送情報

#### 保存方法

-20°Cで保管してください。